



当校 HP の QR
コードです。

進路だより

揖斐特別支援学校

キャリア支援部 第8号



～ 未来へはばたくみなさんへ ～

令和7年度 1月発行

思いも新たに2026年がスタート！！

みなさん、明けましておめでとうございます。2026年「午年」がスタートしました。まずは、**箱根駅伝**。青山学院大学が往路（5区の山登りでエースの黒田朝日が躍動し、『シン・山の神』が誕生）・復路ともに他校を寄せ付けず圧巻の走り、歴史に刻まれる完全優勝を成し遂げ話題になりました。そして、日本プロレス界最大の祭典「**新日本プロレス 1.4 東京ドーム大会**」が行われ、大垣市出身のプロレスラー“100年に一人の逸材”棚橋弘至の引退試合＆”五輪柔道金メダリスト”ウルフアロンのプロレスデビュー戦！**熱い闘い**【試合結果：棚橋弘至は、必殺技のハイフライフローがさく裂するもオカダ・カズチカが必殺のレインメーカーを決め、長年のライバルに引導を渡した。ウルフアロンは、NEVER 無差別級王者 EVIL に三角締めで締め落とし、デビュー戦でチャンピオンベルト奪取に成功】に正月から日本中が沸き上がりました。今年は、世界中がスポーツで盛り上がること間違いなし。2月にミラノ・コルティナ冬季五輪（池田町出身のフリースタイルスキー・モーグルの堀島行真、**悲願の金メダル獲得なるか！**）3月にワールド・ベースボール・クラシック（侍JAPANの**連覇達成か！**）、6月にFIFA ワールドカップ（サムライブルー**悲願のベスト8 達成か！**）、9月にアジア競技大会（愛知・名古屋に**各種トップアスリートが集結！**）、10月末にMLB ワールドシリーズ（ロサンゼルス・ドジャースの**3 連覇達成か！**）と、どれも今からワクワクが止まりませんね。高等部のみなさんも、アスリートのみなさんに負けない「**熱く盛り上がるシーン（熱盛）**」を、今年はたくさん見せてくださいね！！期待しています！！

前回の記事（第7号）を覚えていますか？



進路だより「第7号」で、「職業準備性ピラミッド」の内容を紹介しました。これは**障がいの有無や就労形態にかかわらず不可欠とされる重要な要素**を5段階で示したものです。その要素とは、ピラミッドの土台となる下から「**①心と身体の健康管理**」「**②日常生活管理**」「**③社会生活能力・対人能力**」「**④基本的労働習慣**」「**⑤職業適性（能力・適性）**」になります。これら5つの要素は、**人が働き続けるために必要不可欠な基礎的能力**とされています。もう一度読み返してもらえると嬉しいですが、土台部分の「**①心と身体の健康管理**」と「**②日常生活管理**」については、ぜひご家庭を中心に組み込んでほしい内容です。

心と身体の健康管理とは

①バランスのいい食事や必要に応じて服薬等を行い健康管理ができる②就労に必要な体力がある③病気の予防や早期治療のための対処または要求ができる等、**自分自身の健康をしっかりとコントロールするスキル**です。

日常生活管理とは

①基本的な生活リズムを整えられる②身だしなみを自ら整えることができる③余暇活動を楽しめる④金

銭の管理（無駄遣いをしない）ができる⑤公共交通機関を使用して移動ができる等、**働くために必要な日常生活を送るスキル**です。

高等部でも、継続的に個々の課題に合わせた日常生活に対する取り組みを行っていますが、学校の間だけではどうしても一時的なものになってしまいます。**ご家庭でも継続的に取り組んでいただくことで、初めて本人の力として定着**します。**定着した力こそが、就労に向けて活かせる力になります**ので、高等部での日々の生活が卒業後の力につながっていることを意識して生活してほしいと思います。

～企業が求める人物像（重視するポイント）とは？～

① 休まずに**安定して勤務**することができる

企業は、雇用率対策を考えて採用計画を立てます。安定して勤務ができないと、所定の勤務時間数を割り込み、当初の計画が崩れ、計画の見直しが必要となり迷惑をかけることになります。

② 基本的な**ビジネスマナー**が身に付いている

気持ちのよい挨拶、相手に不快感を与えない清潔な身だしなみ、報告・連絡・相談は、一般就労では、最低限のスキルとされています。日頃の生活から意識しましょう。

③ 仕事は、スピードよりも「**正確で確実**」である

作業スピードも重要ですが、まずは安全に作業を行い、品質の確保ができて、はじめて効率的な作業へ移行します。日頃の作業学習でも、丁寧に作業することを心掛けましょう。

④ 自分の**障がい特性の理解と受容**

就労するうえで、自分の障がい特性に対する理解（体調不良を引き起こしやすいのはどういう時か・障がい特性上、行うことが困難なことは何か）や、体調が変化した時に、自ら助けを求めることができるかどうかは、とても重要になります。障がいを受け入れることで、自身の障がいを理解し、対策を練ることができるので、障がいに振り回されにくくなります。離職する人に多い傾向は、**自己効力感だけが低い、自信過剰な人**です。

⑤ 自社で**働く意欲が明確**にある

採用面接試験でも必ず、志望動機が聞かれます。現場実習を通して、「この会社で長く働きたい」や「この会社でこんな仕事がしたい」という“自分の居場所”を見つけ出しましょう。

⑥ **素直な心、謙虚な態度、感謝の気持ち**を大切に

人間性は、どの職場や職種でも、年齢・性別、障がいの有無等に関係なく、とても重要な要素になります。素直に学ぶ姿勢は、謙虚さや努力、感謝の気持ちを自然に育み、成長を加速させ、感謝や謝罪の思いを素直に伝えることで、周囲との信頼関係が構築されます。

⑦ **支援者**がついている

企業就労を希望する生徒は、夏季休業中に職業相談を実施し、ハローワークと西濃障がい者就業・生活支援センター（以下中ぼつ）の職員に繋がります。中ぼつの職員は、10月の現場実習の巡回を始め、卒業後の就労サポートに定期的に入り、長く働けるよう支援してくれます。

※上記「企業が求める人物像とは？」の記載にあたり、**Man to Man Passo 株式会社のパッソ岐阜校**より貴重なデータを出典協力いただきました。企業が、採用にあたり重視するポイント（7項目）に注目すると、やはり「職業準備性ピラミッド」の5つのレベルを段階的にクリアしていくことが、自信を持って長く働き続けられる基盤を築くことに繋がります。